

平成24年度 事務事業評価シート

※平成23年度に実施した事業を評価しています

事務事業名称	準用河川整備						... 継続 ...				
コード	71	-	23	-	03	-	00	予算事業名	準用河川整備		
担当部署	建設部	河川課			治水担当		予算事業コード	会計 10	款 08	項 03	目 01

1. 事業の位置付けと関連計画等

第三次川越市総合計画後期基本計画における位置付け 位置付けなしの場合 ... 法令による実施義務 ... 義務ではない。

基本目標(章)	3章	人と環境にやさしい、快適な基盤を備えた魅力あるまち	根拠となる法令、条例等	河川法
方向性(節)	3節	自然と調和した基盤づくり	個別計画等の名称	なし
施策	1	治水事業の推進		
細施策	1	河川整備		

2. 事業の目的と概要

事業の目的 (誰・何を対象に、何のために実施するのか)	準用河川の整備を行い、浸水被害の解消及び地域の生活環境の向上を図る。
事業の概要 (活動内容、実施手段・方法など)	準用河川は3路線、延長9.1kmが指定されており、未整備区間の整備工事、整備済区間の改修工事、浚渫等の維持管理を実施する。

3. 実施にかかるコストと実績

(単位:千円)

		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度
予算額		46,742	51,762	44,750	41,500	41,400	
事業費	A	40,206	44,751	39,477	37,590	41,400	41,400
	B	3,034	3,034	3,034	3,848	4,292	4,292
総コスト(C=A+B)		43,240	47,785	42,511	41,438	45,692	45,692
正規職員(1年間の従事人数)		0.41人	0.41人	0.41人	0.52人	0.58人	0.58人
臨時職員(1年間の従事人数)		0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人	0.00人
国県支出金	D	0	0	0	0	0	0
その他特定財源	E	36,100	40,200	35,500	33,800	37,200	37,200
市の財政負担(=C-D-E)		7,140	7,585	7,011	7,638	8,492	8,492

※24年度、25年度の事業費、人件費は見込額
※臨時職員の給与も、人件費に含みます。

4. 成果指標・活動指標による分析

成果	中心指標	単位	20年度	21年度	22年度	23年度	指標の定義
成果	整備率	%	95.1	95.1	95.1	95.1	整備済延長/整備計画延長*100
成果	改修率	%	33.7	41.8	48.8	57.2	改修済延長/改修計画延長*100

中心指標の考え方	本事業は、事業目的の達成度をはかる本来の成果指標の測定は困難なため、代理成果指標を設定する。
指標に基づく評価	事業費の縮小等を受け、施工延長が短くなってきているが、着実に進捗がなされている。

5. 事業の実施を通じた分析・評価

(1) 現在の課題と状況	効率性に課題
準用河川は整備後年数が経過し老朽化が目立つようになってきた。良好な流水機能を保持できるように、早急に構造物等の改修工事及び安全対策を進めなければならない。	

(2) 比較参考値(他市での類似事業の例など)	埼玉県内では、川越市を含め50市町村が準用河川を指定し整備を行っている。
-------------------------	--------------------------------------

(3) 事業を廃止・縮小したときの影響	準用河川は各地域の幹線排水路の役割を担っており、流水の正常な機能の維持、及び河川環境の整備と保全に取り組みなくなると、公共の安全を保持することが出来なくなり、台風や集中豪雨等による浸水被害が増大し、水害から市民の生命と財産を守るとした目標達成が困難となり、市民生活に大きな影響を与える。
---------------------	---

(4) 所属長自己評価(今後の方向性)	継続
今後とも河川管理者として良好な流水機能及び河川環境の維持を図る必要があり、安心・安全なまちづくりを行う上でも必要不可欠である。	